

外国語科学習指導案

令和7年 月 日 () 校時
 ○○中学校1年

1 単元名 Our Project 2 この人を知っていますか。 (Sunshine English Course 1)

2 本単元で扱う領域における「CAN-DOリスト形式」による学習到達目標（第1学年）

聞くこと	読むこと	話すこと [やり取り]	話すこと [発表]	書くこと
はっきりと話されれば、学校案内や店内でのやりとりなどについて、必要な情報を聞き取ることができる。	学校行事や絵はがきでの近況報告などについて、簡単な語句や文で書かれたものから必要な情報を読み取ることができる。	自分の趣味などについて、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合うことができる。	自分の趣味などについて、簡単な語句や文を用いて即興で話すことができる。	自分の趣味などについて、簡単な語句や文を用いて正確に書くことができる。
PU1 PU3 U4	P5 PU6	P1 P2 PU1 PU2 PU3 PU4 S6	P3 S1	OP1 S5 PU6
はっきりと話されれば、映画やアニメのキャラクターなど自分の好きなものや事柄などについて、話の概要を捉えることができる。	登場人物が体験したことなどについて、簡単な語句や文で書かれた短い文章の概要を捉えることができる。	自分自身や身近な人に関することなどについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができる。	自分自身や身近な人に関することなどについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができる。	自分自身や身近な人に関することなどについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができる。
P2 PU5 S4	P4 P8 P9 P10	P1 P2 S4 S6	S2 OP1 OP3	S2 OP1 S3 OP2 OP3
はっきりと話されれば、国際理解や自然環境などについて、簡単な語句や文で書かれた短い説明の要点を捉えることができる。	国際理解や自然環境などについて、簡単な語句や文で書かれた短い文章の要点を捉えることができる。	国際協力や文化などに関して、聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて述べ合うことができる。	自然環境や文化などに関して、聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて話すことができる。	自然環境や文化などに関して、聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて書くことができる。
P6 P7	P6 P7 P9	P4 P8	P7	P6 S3 P9

3 単元における指導構想

○教材観

本単元では、紹介したい人物について、その人の特徴や自分の考えをスピーチしたり聞くときの姿勢で大切なことを考えさせたりする活動になっている。

言語材料としては、三人称・単数・現在形を使用して説明する方法や人称代名詞を正しく使用することが取り扱われている。これらの表現を使うことで、紹介したい人物について相手に分かってもらえるように自分の考えや気持ちを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、書いたりする力を身につけることができると考えられる。

○生徒観

本学級の生徒は英語を「楽しい」と感じることができており、学習意欲は高く、積極的に活動に参加し、発表をすることができる。対話練習においても、文章は短いが自分の考えを伝えたり、Me too. 等のリアクションをとったりすることもできる。また英語で話すことへの抵抗感も少ない。

しかし、正しく書くことや聞きとることに課題があり、定着している語彙が少ない生徒が多いのが現状である。これらの状況から、本単元ではみんなに知ってもらいたい人を紹介するという活動を通して、正しく書くことや、伝わる文章を構成する力の向上を図りたい。

○指導観

本単元では、優太によるスピーチを聞いたり読んだりし、その構成を参考にスピーチ作成の手順を紹介する。実際にまとまりのある文章を作成・読解することで、正しく伝わる文章を考え、内容理解の力を身につける。これを踏まえ、言語活動として、紹介したい人物をマッピングし、「導入」「展開」「まとめ」の3構成に沿った文章を作成する活動を行い、「書くこと」に焦点をあてた指導を行う。単元終末の言語活動では、クラスメートに自分が興味のある人物を知ってもらうため、これまで学習した表現や語句を用いて紹介文を作成し、「Our No.1 Favorite Book」としてまとめる活動を行う。Small Talk、3 Hint Quizなどの帯活動を積み重ね、表現できる内容や語句を増やしたい。また、自分の思いを表現することに恥ずかしさを感じる生徒もいるため、温かい雰囲気づくりや互いの努力を認め合う姿勢を大切にしたい指導を心掛けたい。

○Coaching型授業の実践(ICT活用場面)

タブレットを辞書や意見をまとめるツールとして、活用できるようにする。MetaMoJi Classroomに学習の流れを提示し、主体的に課題に取り組めるようにする。タブレットで生徒の進捗を確認し、必要な支援を行うようにする。

4 単元の目標

クラスメートに興味のある人物をよく知ってもらうために、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができる。

5 単元の評価規準(「書くこと」の評価規準)

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>〈知識〉 他者を説明する方法や代名詞を正しく理解している。</p> <p>〈技能〉 紹介したい人物について、相手に分かってもらえるように考えや気持ちを整理し、学習した語句や表現を用いて書く技能を身につけている。</p>	<p>クラスメートに自分が興味のある人物についてよく知ってもらうために事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書いている。</p>	<p>クラスメートに自分が興味のある人物についてよく知ってもらうために事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書こうとしている。</p>

6 指導と評価の計画(4時間)

時間	ねらい(■)、言語活動等(丸文字)	評価			備考
		知	思	態	
1	<p>■単元の目標を理解する。</p> <p>■優太のスピーチを読み、その内容と構成を理解する。</p> <p>①Small Talk・mini単語テストを行う。(帯活動)</p> <p>②メモを取りながら優太のスピーチを聞く。</p>	徒の活動状況を記録に残す評価は見届けて指導に生かす。			
2 本時	<p>■クラスメートに自分が興味のある人物についてよく知ってもらうために内容や構成を考え、簡単な語句や文を用いて「導入」の文章を書く。</p> <p>①3 Hint Quiz・mini単語テストを行う。(帯活動)</p> <p>②興味のある人物についてアイデアをまとめる。</p> <p>③相手に興味を持ってもらえるように工夫して書く。</p>				
3	<p>■クラスメートに自分が興味のある人物についてよく知ってもらうために、簡単な語句や文を用いて紹介文の「展開」「まとめ」を書く。</p> <p>①3 Hint Quiz・mini単語テストを行う。(帯活動)</p> <p>②相手に興味を持ってもらえるように工夫して書く。</p>				
4	<p>■クラスメートに自分が興味のある人物についてよく知ってもらうために簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話す。</p> <p>■クラスメートの紹介文に対して簡単な語句や文を用いてコメントをする。</p> <p>①Small Talk・mini単語テストを行う。(帯活動)</p> <p>②内容や構成に工夫をし、文章を完成させる。</p> <p>③クラスメートの書いた紹介文にコメントをする。</p>	○	○	○	成果物で評価

後日	パフォーマンステスト	○	○	○	ライティングテスト
----	------------	---	---	---	-----------

7 本時の活動（第2時）

(1) 目標

クラスメートに自分が興味のある人物についてよく知ってもらうために、内容や構成を考え、簡単な語句や文を用いて「導入」の文章を書くことができる。

(2) 展開

時間	学習活動	指導上の留意点	評価の場面	評価方法
3分	1 挨拶をする。	○学習の雰囲気をつくる。		
10分	2 Small Talk・mini単語テストを行う。	○伝えたかった表現を確認する。		
3分	3 本時の目標を知る			
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 推しを紹介しよう② Let's make 「Our No.1 Favorite Book」 . </div>				
30分	4 紹介したい人物についてアイデアを記入する。	○「導入」「展開」「まとめ」を意識して構成を考えさせる。		
	5 アイデアを整理して構成を考える。	○机間指導を通して、支援が必要な生徒には適宜助言を行う。		
	6 「導入」の部分を書く。	○「導入」の内容や書き始めについて適宜助言を行う。 ○よく知ってもらうために必要な表現や工夫する点などを考えさせる。 ○良い例となる生徒の文章を全体に紹介し共有する。		
4分	7 本時の振り返りをし、挨拶をする。	○良かった表現等を伝え、共有する。		

8 評価及び指導の例（「書くこと」）

「十分満足できる」と判断される状況(a)	既習事項や表現を積極的に活用し、紹介したい人物について、構成を工夫してまとまりのある文を書いている。
「おおむね満足できる」状況(b)を実現するための具体的な指導	紹介したい人物について、これまで学習した内容を振り返りながら簡単な語句を使用して短い文章で書けるように助言する。
「努力を要する」状況(c)と判断した生徒への事後指導	マッピングの内容や文章の構成について個別支援を行い、生徒のアイデアを元に作文に必要な表現や語句を助言することで、「おおむね満足できる」状況(b)を達成できるようにする。